

Ⅱ 拠点館事業

令和元年度 市直営事業実績

1 地域づくり支援

地域の多様な活動を担う人材育成や地域の諸団体と関係機関とのコーディネート、地域情報の収集・提供などを行うことにより、市民自らが地域課題に向き合い住み良いまちづくりにともに取り組むことができるようにする。

(1) 若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。

なお、平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センター等において実施した。平成 25 年度からは、事業名を変更して各区中央市民センターで実施している。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数(団体数)	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	11	69	295	高校生・大学生・社会人
宮城野区	11	56	(実施せず)	高校生・大学生・社会人
若林区	26	79	1,253	大学生・社会人等
太白区	6 (団体)	65	27	大学生・社会人
泉区	27	135	40	大学生・社会人

① 若者によるまちづくり実践塾

＜青葉区中央市民センター＞

若者が対話を通して、①課題発見力、②他者理解力、③発信・表現力の3つを伸ばしていくことを今年度の目標として取り組んだ。はじめに、地域の実態、参加者の実態、社会的背景を踏まえ、どのような内容を今年度の若者事業のテーマとするかを話し合い、「多文化共生」をテーマとし、タイトルを「突撃！！あんだナニしに來たのっしや？ーWhat are you going to do in Sendai?ー」に決定した。

事業の具体としては、市役所の交流企画課、誘客戦略推進課及び仙台多文化共生センターへ、市内の外国人市民の実情や課題等を取材した。併せて、市内の観光名所を回り、外国人旅行者や外国人市民に、仙台に來た理由や仙台の印象等をインタビューした。また、本事業の取組を多くの市民の方に知ってもらうために、青葉区民まつりに参加した。若者自身が、仙台市と関わりのある国の挨拶とその国の国旗を合わせる「青中国際村かるた」というゲームを考えて実践した。さらに、若者が、外国人市民のそれぞれの国の文化や習慣を一層理解するとともに、日本及び仙台で暮らす上での課題、実際に体験したいこと等を把握する必要があると考え、「青中国際村交流会」という講座の企画・運営を行った。

② まいぷろ・Miyagino for Young PROgram

＜宮城野区中央市民センター＞

令和元年度は「地域貢献」「かべしんぶん」「PR広告」というキーワードを用い、若者が取り組みやすく、かつ地域の「魅力」や「動き」に気づき、新たな活動を生み出そうとする意欲を高めるように工夫しながら、「八幡商店街・原町商店街」「学生サークル団体」を題材とした「PR広告」「かべしんぶん」制作を行った。事業全般にわたり、仙台市市民活動サポートセンターと連携した。

制作過程で、作成技量の向上とともに、読者にわかりやすく伝えたい、掲出先の要望に応えた完成度の高いものにしたいという思いが強くなり、そのことが成果物の出来栄えにも表れた。取材時に「人の思い」を強調して取り上げた。また、活動を通じて、参加者の将来への進路への考えも広がった。

制作した「PR広告」「かべしんぶん」は原町商店街、八幡商店街をはじめ、尚絅学院高校、仙台市市民活動サポートセンターなどにも掲出した。

③ 仙白園プロジェクト・人

＜若林区中央市民センター＞

講座名は若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担い、仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることに由来。令和元年度は畑作業、地域イベントへの参加などを中心に活動を展開した。地域住民メンバーとの畑作業を実施し交流を深め、また畑の収穫物（じゃがいも、枝豆、白菜）を活用し、夏の交流会、冬の収穫祭（クリスマス会）を企画・運営した。事業の実施を通して、自分たちで新たな取り組みを考えたいという意識を持つ学生が参加してくれたこと、ジュニアリーダーOB・OGの参加により、地元の若者の活躍の場にもなりつつあることなどの成果が得られた。また、畑作業やイベント運営を通じた地域住民参加者との異年齢交流により、新しい気づきや学びがあったこと、さらに、自主的にイベントの企画・準備・運営を行う経験を通して、次の活動に向けて意欲を高めることができたことから、若者の主体性を引き出しながら今後の事業の展開につなげていきたい。

④ 仙台学生サークルネットワーク事業「つながりんぐ」

＜太白区中央市民センター＞

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」、また、学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見をうけて、本事業を平成26年に立ち上げ、活動する学生のネットワークを「つながりんぐ」と名付けて活動をスタートした。若者の社会参画をねらいとした活動の受け皿となるネットワークを構築するために、大学等でPR活動を行ったりした結果、令和元年度は6団体のサークルが参加した。主な活動内容は、①長町交流フェスタでのイベント（お化け屋敷）の企画・運営、②所属する学生サークルを紹介したリーフレットの作成とした。完成したリーフレットは、参画サークルを通じて、大学内での活動の様子を伝えるツールとして活用したほか、各地区市民センターに配布した。

成果としては、定例会やイベント企画を通して各サークルが互いの活動を知ることになり、より親密な交流を生み出すことができたこと、活動の受け皿となるネットワークが構築されたこと、リーフレットの作成により学生サークルの活動支援ができたこと、が挙げられる。今後は、地域住民との交流をねらいとした新たなイベント等を企画・運営し、若者の社会参画をさらに推進していきたい。

⑤ ICP Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞

泉区内に通学している大学生を中心とした受講生が地域の現状や課題について考え、学生の自由な発想で地域創造に向けて取り組みたいことを企画し、実施する講座である。

前年度の活動から学んだ「人のつながりがまちづくりにつながる」という気付きを基に、今年度のテーマを「人と人をつなげる」とし、身近な公園における地域住民同士の交流を促す自主企画イベントとして、12月21日（土）に、泉区中央市民センター創作室にて『親子でスマイルキャンドル作り』、泉中央4丁目公園にて『キャンドルナイト ～人と人をつなぐ～』を実施した。

実施に向けては、イベント運営を学ぶための地域団体主催のキャンプへの参加や、公園に関する情報収集のための区役所公園課訪問を行った。また、イベント会場に適した公園を探すための公園散策など、様々な調査活動を行った。さらには、ポスターを制作して児童館に掲示を依頼し、役割分担やキャンドル試作などの準備作業を進めた。

イベント当日は、地域住民の他にジュニアリーダーなども参加し、集団ゲームやトーク企画などで参加者同士の交流を深めた。

受講生は、前年度までの学習活動や自主企画事業実施の経験を生かしながら、新たな事業を企画・実施することで、人同士のつながりの大切さに気付くとともに、泉区やまちづくりへの関心をさらに高めるなど、受講者自身の学びを深めることができた。

⑥ 「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者を対象に、情報交換会や交流会、成果報告会を実施し、各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に、受講者の参加意識の向上を図った。併せて、市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から、重要なエッセンス及びノウハウを抽出して地区市民センターにフィードバックすること、及び区中央市民センターの事業が円滑に進むように後方支援を行った。

（ア）啓発事業（参加者：各区中央市民センター若者事業担当者）

大学において各区中央市民センターの事業担当者から学生に対して、事業の企画、実施内容のPRを行った。

大学名	日時	大学名	日時
仙台白百合女子大学	5.13(月)13:00～13:40	聖和学園短期大学	5.28(火)9:00～9:40
尚絅学院大学	5.17(金)12:50～14:20	東北大学	5.29(水)11:30～12:00

宮城教育大学	5. 21(火) 16:20～17:50	東北福祉大学	5. 30(木) 16:05～16:20
宮城学院女子大学	5. 22(水) 12:10～12:40	東北文化学園大学	6. 12(水) 13:20～13:50
東北学院大学	5. 23(木) 10:50～12:20		6. 13(木) 15:00～15:30
	5. 24(金) 10:50～11:20	東北工業大学	7. 1(月) 10:30～11:00

(イ) 方向性を確認する会 【助言者】 水谷修 氏（東北学院大学 教授）

(H31. 4. 16(火) 14:00～16:30 参加者：各区中央市民センター若者事業担当者等 19 名)
生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際して、実施計画をもとに意見交換や助言者からのアドバイスを得る機会を設定することで、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

(ウ) アイディア会議(尚絅学院大学「地域活動論実習」)

(R1. 12. 12(木) 14:00～16:00 参加者：講義受講生 58 名 各区担当者等 16 名)
今後の事業展開の参考とするために、生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業のこれまでの取組みをもとに、尚絅学院大学の学生とともに、事業のブラッシュアップの方向性についてアイディア会議を実施した。

(エ) 第1回 交流会

(R1. 11. 16(土) 参加者：受講者 7 名 各区中央市民センター若者事業担当者等 9 名)
本事業の受講者を集め、情報交換を行うことで交流を深めることをねらいとして、生涯学習支援センターで実施した。

(オ) 第2回 交流会

(R2. 1. 19(日) 参加者：受講者 7 名 各区中央市民センター若者事業担当者等 9 名)
本事業の受講者を集め、情報交換を行うことで、受講者自身の事業の振り返りや事業改善、活動意欲を高めることをねらいとして、せんだいメディアテークで実施した。

(カ) 事業PR用チラシの作成

各区中央市民センターにおける事業の受講者増を図るため、大学等でのPRの際に配布したり、社会教育施設に配架したりするために若者社会参画型学習推進事業を紹介するチラシを作成した。

(キ) 成果報告会 【助言者】 鈴木悟 氏（南三陸スマイルアゲインプロジェクト事務局長）

(R2. 1. 19(日) 参加者：事業受講者 16 名 社会教育施設職員等 154 名 市民 201 名)
せんだいメディアテークを会場に、市民センター事業担当者及び事業受講者、市民センター職員、関係課職員、市民を対象に、各区事業の取組並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告とポスターセッションを事業担当者や受講者が行い、助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため、住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し、解決につながる活動を実践することにより、そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に、平

成 23 年度から事業を実施。区中央市民センターを中心に、地区市民センターとも共催しながら事業展開を図っている。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	30	238	3, 867	宮城西 8, 吉成 5, 落合 10, 折立 5, 中山 2
宮城野区	43	338	1, 222	高砂 13, 田子 5, 幸町 5, 岩切 20
若林区	19	151	510	六郷 7, 団体 8
太白区	21	409	8, 200	区内 18 団体
泉区	59	403	429	寺岡 6, 根白石 35, 松陵 6, 南光台 6, 桂 6

① 地域元気クラブ

＜青葉区中央市民センター＞

受講生が講座での学びやネットワークを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域活性化のための企画を提案・実践していくことを通し、地域を元気にするノウハウについて学びを深めることができた。企画する事業への参加者が増えたり、学校をはじめとする地域の諸団体と連携する機会が増えたりするなど、地域づくりに必要なネットワークの構築が進んでいる。

【企画・実施した事業…大倉ダムの魅力発信「鯉のぼり×大倉ダム」（宮城西市民センター）、国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の魅力再発見（吉成市民センター）、ふるさと落合栗生地元塾（落合市民センター）、折立素敵物語（折立市民センター）、ラララ♪歌で元気に（中山市民センター）】

② 地域の“絆”再生プロジェクト 「地域づくり講座」

＜宮城野区中央市民センター＞

高砂市民センター、田子市民センター、幸町市民センター、岩切市民センターと連携しながら、住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち、地域の課題や将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワーク等を展開する講座を行った。

今年度の成果として、「中野ふるさと学校」では、「日和山登山」や「写真で辿るふるさと～蒲生・貞山堀・和田新田～」等のイベントや公開講座を行った。また、「ふるさと」の生活や記憶を伝え広げる活動として、小学校の校外学習や職場体験にも主体的に取り組んだ。

「田子今昔物語」では、前年度作成したリーフレットを片手にまち歩きをしたり、小学校の校外学習で歴史や魅力について話したりした。参加者同士で交流が深まり、活動への意欲や地域への誇りをさらに持てるようになった。また、子どもたちと関わることで、学びが深まり、新たな発見もできた。

「柊江の森 魅力発信プロジェクト」では、2年間自分たちが活動してきたことを基に

リーフレットを制作した。また、夏には森を歩き地形や植物等に触れ、秋には森の素材で工作体験をし、冬には杣江地域で発掘された瓦などについて学んだ。四季を通じて、たくさんの人と出会い、様々な角度から森の魅力を発見することができた。

「子どもの広場（居場所）づくりボランティア」では、子どもの遊びや体験を支え、子どもを見守るネットワークづくりを目指している。今年度は、シルバー人材センターの方もメンバーに入り、新たな横のつながりができた。また、子どもたちの興味・関心が何かを考え、ボードゲーム研修会を行うなど、新たな試みも実施した。

いずれの講座でも取組の段階に応じた手順を踏んで、事業を展開していくことができた。

③ わたしのふるさとプロジェクト

＜若林区中央市民センター＞

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業。

六郷東部地区は移転された方も多く、震災前と比べて人口が大きく減少している。一方、地域に残った方、戻った方はもとより、移転された方の間でも地域への愛着は強い。このような地域課題を踏まえ、令和元年度も六郷東部地区のコミュニティやにぎわい再生に向けて「わたしのふるさとプロジェクト」を継続し、六郷東部地区住民が交流する機会を創出するために地域住民（移転された方を含む）の話し合いを月1回程度行った。8月17日には、東六郷小学校跡地を会場に2回目となる「来てけさいん♪六郷東部夏祭り」を開催した。また、1月25日に東六郷コミュニティ・センター及び二木津波避難ビルを会場に「ふるさとにつどう第5回鎮魂の花火」を実施した。

④ 太白おやじネットワーク事業

＜太白区中央市民センター＞

太白区内各小中学校に在籍する児童・生徒の保護者で構成する任意団体（通称：おやじの会）や地域の企業、高等教育機関を中心としたネットワークの構築を目指して事業を展開した。各地域においては、「転勤族が多く、横のつながりが希薄」「高齢者が多く、防災・防犯面で不安」などの地域課題の解決に向けて、意欲的に取り組んでいる団体もあれば、活動が停滞している団体もある。そこで、各地域での活動を支援しつつ、緩やかにネットワークを形成し、お互いが刺激し合い、学び合う機会を設けた。地域の企業や大学等の教育機関がネットワークに加わることで、専門的な助言や支援を各団体の地域活動に生かすことができた。主に小学生とその保護者を対象としたスポーツイベント「太白みんな de スポフェス」開催に向けて4回の企画会を実施し、イベントの企画に加え、各地域の活動等の情報交換会を進めてきた。同スポーツイベントでは、およそ8,200名が来場し、親子で様々なスポーツを体験した。

⑤ 地域いきいきプロジェクト

＜泉区中央市民センター＞

地域特性に応じながら、住民と各地区館職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践した。また、事業進行での様々な学習活動を通じて、地域の人材育成が行われ

ている。令和元年度は、①地域のコミュニケーションスキルアップを図る企画講座「探求、自分。」、大学生・高校生を中心に若者目線で地域の魅力を発信する「てらさんぽ」を寺岡市民センターで実施、②根白石の地域活性化の手段を検討する「プロジェクト企画会」を根白石市民センターで実施、③創作した紙芝居を使った地域貢献を目指す「みんなで創る紙芝居」を松陵市民センターで実施、④地域の中で自主企画イベント「ミドルエイジからの地域デビュー」を南光台市民センターで実施、⑤若者が中心に地域の多世代交流を企画した「かつら・よもやまごとかい」を桂市民センターで実施した。

⑥「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者、地区市民センター職員を対象に、研修会や報告会等を実施し、各区の事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会①

(H31.4.18(木)14:30～17:15 参加者：各区中央市民センター住民事業担当者等 17 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、実施計画をもとにした情報交換と、地区市民センターへの事業支援の在り方に関する検討を行うことにより、事業内容をブラッシュアップするとともに、効果的な事業展開を目指すために実施した。

(イ) 方向性を確認する会②

(R1.6.20(木)14:30～17:15 参加者：各区中央市民センター住民事業担当者等 18 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターにおける事業の取組状況の報告と今後の予定などの情報の共有化を図り、今後の事業展開の参考とするために実施した。

(ウ) 成果報告会 【助言者】玉淵安夫 氏（仙台市嘱託社会教育主事OB）

(R2.1.19(日) 参加者：事業受講者 47 名 社会教育施設職員等 154 名 市民 201 名)

せんだいメディアテークを会場に、市民センター事業担当者及び事業受講者、市民センター職員、関係課職員、市民を対象に、各区事業の取組並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告とポスターセッションを事業担当者や受講者が行い、助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

(エ) パンフレットの発行

市民や関係機関に向け、住民参画・問題解決型学習推進事業の啓発のため、令和 2 年 3 月に発行した。1,500 部作成し、市民向けに市民センター等に配架するとともに、区中央市民センター及び地区市民センター職員に配布した。



(3) 子ども参画型社会創造支援事業

本事業は、子どもたち（小学生，中学生，高校生）が，地域の中で役割を持ち，社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し，自分たちの地域の課題に気付き，地域・社会の一員として行動する視点を持つことで，将来的に地域や社会で主体的に活躍できるようになることを目指した「人づくり」を目的に平成 23 年度から実施。各区中央市民センターを中心に，地区市民センターとも共催しながら事業展開を図っている。

【各区中央市民センターにおける受講者数等一覧】

区	受講者数	受講者延人数	イベント参加者数	受講者内訳
青葉区	23	282	912	幼児，小・中学生，高校生
宮城野区	36	332	465	小・中学生， ※大学生，専門学校生
若林区	18	132	(実施せず)	小・中学生
太白区	12	101	(実施せず)	小学生
泉区	8	101	48	小学生

※学生アシスタントとして参加

① 地域盛り上げ隊

＜青葉区中央市民センター＞

広瀬市民センターにおける「カップダ川プロジェクト」では公開講座のサポートを受講者が行った。また「カップダ川ダンス部」は，地域に流れる『カップダ川』をテーマにしたダンスを地域行事で披露したり，地域住民とともに踊ったりしながら地域の絆づくりに積極的に取り組んだ。今年度は3名メンバーが加わり，地域における周知度も高まった。

活動を通して，地域のひと・もの・ことについて理解を深めるとともに，それらを尊重しようとする心情も育ってきている。受講者が地区まつりやボランティア活動に参加したり，ジュニアリーダーに登録したりするなど，社会参画に資する人材育成も進んでいる。

青葉区中央市民センターにおける「青陵インパクト」では，小学生が地域での活動に目を向け，将来主体的に地域で活躍できる人材に育つことを目指し，中学生・高校生のメンバーが制作したカードゲームの活用を図った。

メンバーが意見を練りあい，町内会役員の仕事を取材した経験を紙芝居や新聞に作成したり，ルールを説明する動画を作成したりした。また，青葉区民まつりや児童館でメンバーがカードゲームを紹介し，地域に関心を持ってもらうための機会とした。12月には教育課題研究発表会で発表し，会場の方に自分たちの学びを発信することもできた。

本事業に参加したメンバーは企画・制作をとおして地域活動への関心が高まり，意欲的にこの事業に取り組んだ。並行して，区内の小中学校に「あなたのまちの『すてき』を絵・川柳にしよう！」と募集し，絵画 18 点，川柳 147 点の作品が集まり，小中学生の地域への関心も高まったと考えられる。

② 宮城野区子ども参画プロジェクト

＜宮城野区中央市民センター＞

2つの地区市民センターと共催で、子どもたち目線でそれぞれの地域を盛り上げた。子どもたちが地域の市民センター等に自分たちの活動拠点を設け、イベント企画や情報収集・発信の活動によって地域とつながり、社会に参画していくきっかけづくりとなった。

区中央市民センターでは、原町小・宮城野小・東宮城野小児童を対象とした、「キッズもりあげ隊」を実施。「交流」と「仲間集め」をテーマに、地域のまつりに遊びのお店を出店し仲間を募り、市民センターを会場に子どもから大人までみんなで楽しく交流できる場づくりを行った。

鶴ケ谷市民センターでは、中学校の部活動顧問やスーパーバイザーと連携し、鶴谷中学校美術部の生徒が主体となり、「つるっこ画樹園～実れ！鶴心（ツルココ）～」を実施した。地域の魅力的なスポットを透明水彩画で表現し、「杜の美術ファースト展」を中学生たちが企画・運営した。

③ 子どもボランティア事業 チャイルドボランティア「チャボ！」

＜若林区中央市民センター＞

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう、子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学4年生～中学生で、令和元年3月現在26名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月1、2回活動しており、令和元年度は、地域清掃、児童館等の行事の手伝い、被災した東部沿岸地域のみどりの再生に取り組んでいる「ふるさとの杜再生プロジェクト」の植樹会への参加、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなど18回の活動を行った。

④ たいはくキッズリーダー育成事業

＜太白区中央市民センター＞

「エフエムたいはくキッズ情報局」は、西多賀市民センターが主催し、近隣小学校3校から参加児童を募集し、地域の魅力を取材し、まとめ、エフエムたいはくのラジオで発信するという事業で、全7回活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして、また、地域のキッズリーダーとして、地区市民センターを拠点に活動することにより、地域のさまざまな方と交流することができた。また、番組制作を通して、自分たちの地域を学習したり、地域の良さを再発見したりすることができ、自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。

「見つける！伝える！ヒロセ川！」は、長町地区の広瀬川近隣の小学校3校から参加児童を募集し、広瀬川をテーマとした体験活動を通じた学びをエフエムたいはくから発信する事業で、全8回活動した。広瀬川の生物を採集して観察したり、長町地域の「広瀬川灯ろう流し」のイベントで用いられる灯ろうづくりを通して伝統行事に触れたりすることによって地域の魅力等を発見し、学んだことをFM放送で発信した。事業を通じた地域の方々と大学生達との交流は、将来の地域を支える担い手を育む一助となった。

⑤ 子どもまちづくり企画室

＜泉区中央市民センター＞

南光台市民センターでは、平成 30 年度から地域での活動の大切さ、喜びを実感できる「地域のために力を発揮する小学生」を育む講座を通して自主企画イベント「南光台シアター」を実施した。令和元年度は、「南光台をもっと元気に委員会」として引き続き近隣の小学生が継続して企画員となり、新たなメンバーを増やししながら「南光台をさらに活性化したい」という子どもの思いを実現すべく、南光台の旧跡や神社等の名所や地元のお店を巡る「南光台ウォークラリー」を企画。様々な地域団体の協力を得ながら、ウォークラリー企画を実現することができ、地域の魅力を再発見できた。また、参加者や地域の世代間交流も進み、地域のつながりが深まった。

⑥ 「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の受講者や担当者、地区市民センター職員を対象に、報告会や情報交換会等を実施し、各区の事業推進を支援した。

(ア) 方向性を確認する会①

(H31. 4. 18(木) 14:30～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 17 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、年度初めに際し、実施計画をもとに情報交換を行い、今年度の事業展開について見通しを持つことを目的として実施した。

(イ) 方向性を確認する会②

(R1. 6. 20(木) 14:30～17:15 参加者：各区中央市民センター子ども事業担当者等 18 名)

生涯学習支援センター・各区中央市民センターの事業担当者を対象に、情報交換と地区市民センターへの事業支援の在り方に関する検討を行うことにより、事業内容をブラッシュアップし、効果的な事業展開を推進することを目的として実施した。

(ウ) 成果報告会

(R2. 1. 19(日) 参加者：事業受講者 52 名 社会教育施設職員等 154 名 市民 201 名)

各区中央市民センターの子ども事業受講者が、取組みの様子や自分たちの意識の変化について発表した。地区市民センター職員に対しては、本事業への市民センターとしての働き掛けや支援の実際について、普及・啓発を図る内容とした。

(エ) リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて、子ども参画型社会創造支援事業の啓発のため、令和2年3月に発行した。1,200部作成し、地区市民センター職員と市内小中学校、高等学校、中等教育学校に配付した。学校教職員の理解をより得られるように、紙面を工夫するとともに、子ども事業受講者の声を取り上げた。



(4) 調査研究

＜生涯学習支援センター＞

生涯学習事業の現代的課題について、具体的先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

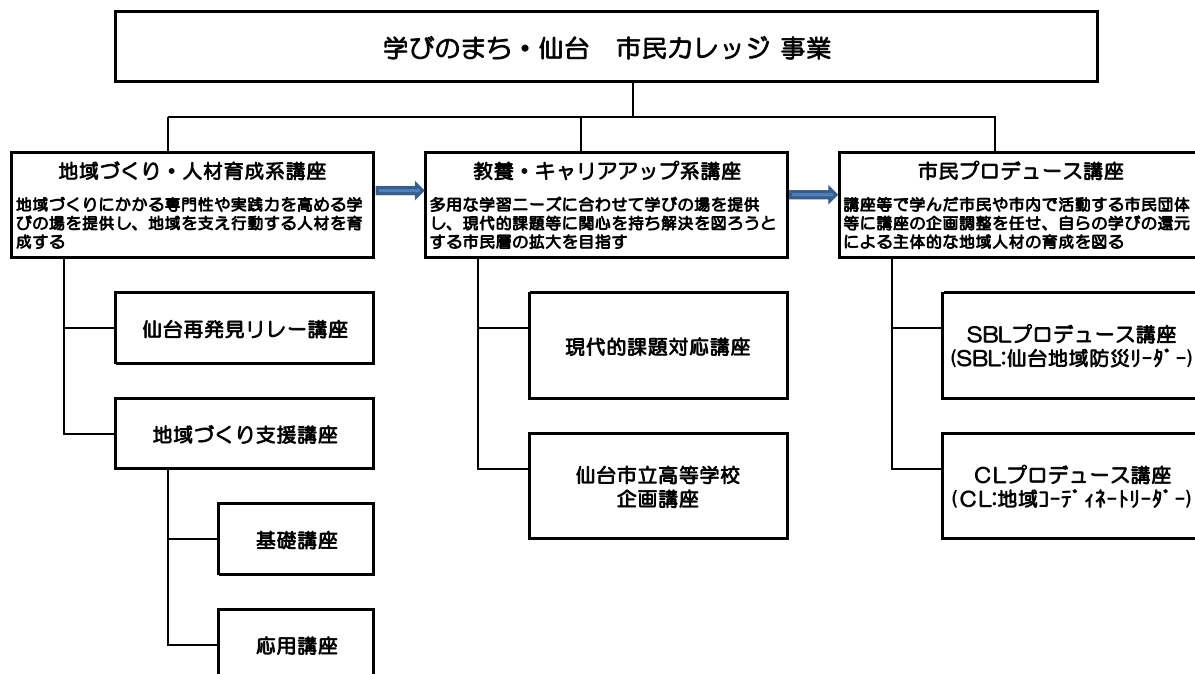
○大学における「サービス・ラーニング」等の先行事例調査・視察

「若者社会参画型学習推進事業」の推進を主な目的として、令和2年2月に弘前大学特別支援教育センター相談室、同大学生涯学習教育研究センター、弘前市教育委員会中央公民館の3か所を訪問し、取組事例「子どもとかかわり合うことを基点としたサービス・ラーニングの実践」等の調査・視察を行った。

(5) 学びのまち・仙台 市民力レジット事業

＜生涯学習支援センター＞

本市における生涯学習の支援拠点として、全市域の市民を対象に、社会ニーズや現代的課題に対応した、専門的で質の高い学習の機会を創出することで、学びを通じた市民力の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進める。



①「仙台再発見リレー講座」～五感で楽しむ～ 5回連続講座

仙台の従来気付かなかった側面を改めて見出すことを共通テーマとした講座。それぞれの専門家の講話で、方言、仙台の原風景、工芸品等各回のテーマに加え、地域づくりの実践や社会貢献との関わりなども盛込み、受講者の地域づくりの意識を育成する内容とした。

回	日 時	概 要	受講者
1	5. 11(土) 14:00～16:00	講話「～だっちゃ・んだ～聞く・話す 方言で楽しむ仙台の魅力」 東北大学方言研究センター 教授 小林 隆 氏	68
2	5. 25(土) 14:00～16:00	講話「あふれる大正ロマン 写真で見る仙台の原風景」 有限会社イーピー風の時編集部 代表取締役 佐藤正実 氏	58
3	6. 15(土) 14:00～16:00	講話「ふれる・つかう 工芸品の魅力にせまる 芹沢銈介と仙台」 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 学芸員 奈良 綾 氏	45
4	6. 22(土) 14:00～16:00	講話「江戸時代の絵画を楽しむ 仙台四大画家の特徴と見どころ」 前仙台市博物館長 内山淳一 氏	47
5	6. 29(土) 14:00～16:00	講話「豊かに香る仙台のお茶文化 緑茶で楽しむ暮らしの彩り」 有限会社大竹園 専務 大竹英次 氏	53

②「地域づくり支援基礎講座」～身近な事例から学ぶ～ 5回連続講座

参加者が地域づくりに取り組もうとする際に、どのような方法で活動をしていけばよいか、地域づくりの先駆者の実践事例、研究者の講話、受講者同士のワークショップ等を通

して学び、実践に活かせる知識・スキル等を身につけられるようにする。町内会や学校との地域づくりなどをテーマとして実施した。

回	日 時	概 要	受講者
1	5.15(水) 18:30～20:30	開講式／講話・ワーク「地域づくりを楽しもう！」 株式会社 MC ラボ 代表取締役 阿部清人 氏 ※講座のコーディネーターは、阿部清人 氏	17
2	6.5(水) 18:30～20:30	事例発表「学校を巻き込んだ地域コミュニティづくり」 金剛沢小親児の会 中村 達 氏 金剛沢児童館長 佐藤みのり 氏 元金剛沢小学校教諭 八巻寛治 氏	25
3	7.3(水) 18:30～20:30	事例発表「地域づくりと町内会～あたらしいふるさとづくり～」 高砂地区町内会連合会 会長 牛坂 勝 氏 田子西町内会 会長 川名 清 氏 田子市民センター 館長 高橋 充 氏	22
4	7.31(水) 18:30～20:30	事例発表「地域資源を生かし都市につながりをつくる」 青空編集室 主宰 西大立目祥子 氏	18
5	9.8(日) 10:00～12:00	館外学習「お薬師さんの手づくり市視察」陸奥国分寺薬師堂境内 青空編集室 主宰 西大立目祥子 氏 閉講式 株式会社 MC ラボ 代表取締役 阿部清人 氏	20

③「地域づくり支援応用講座」～あなたの力をスキルアップ～ 5回連続講座

地域づくり支援基礎講座の受講者や活動経験者を対象に実施し、基礎講座のステップアップ講座として位置づける。同一のコーディネーターが講座デザインを行い、学びの一貫性を保つ。地域課題、コミュニケーション術などをテーマとして実施した。

回	日 時	概 要	受講者
1	10.2(水) 18:30～20:30	開講式／講話「コミュカを向上させよう ～コーチング・コミュニケーション～」 株式会社アライブ・ワン 代表取締役 後藤美香 氏	11
2	11.6(水) 18:30～20:30	講話「チームビルディング」 つなたく 代表 なかにしゆり 氏	14
3	12.4(土) 18:30～20:30	館外学習「地域の強みを見出そう～SWOT分析～」 一般社団法人みやぎ連携復興センター 常任理事・事務局長 千葉富士男 氏	12
4	1.8(水) 18:30～20:30	講話「地域素材を生かす催事を企画しよう ～イベントプランニング～」 S Bird Promotion 代表 曾根千諭 氏	13
5	2.5(水) 18:30～20:30	講話・ワーク「学びの振り返り」／閉講式 株式会社MCラボ 代表取締役 阿部清人 氏	11

④「現代的課題対応講座」～持続可能な地域社会のために～ 2回講座

令和元年度は、消費や多文化共生を学ぶ講座を実施した。

回	開催日	概 要	受講者
1	2.1(土) 14:00～16:00	講話「買い物で変える『未来のカタチ』 ～フェアトレードを考えよう～」 尚綱学院大学 教授 渡邊千恵子 氏	11
2	2.8(土) 14:00～16:00	講話「考えよう！多文化共生時代のまちづくり」 仙台多文化共生センター センター長 菊池哲佳 氏	11

⑤「市民等によるプロデュース講座」

市民センターの講座等の受講生や市内で活動する団体等が、身近な地域をより良くするために、学びや専門性を活かして講座の企画やコーディネートを行い、他の市民とともに専門的な講話やワークショップから学ぶ。昨年度に引き続き、地域づくり支援講座を受講した女性防災リーダー、学校支援地域本部のスーパーバイザーやコーディネーターの企画・運営による2講座を実施。

i)「防災・減災講座」 5回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	8.31(土) 14:00～16:30	開講式／ 講話「長町-利府断層帯から発生する直下型地震について」 仙台クロスロード研究会 主宰 太田千尋 氏	19
2	10.5(土) 14:00～16:30	講話「局地的大雨から身を守るために ～仙台に住む私たちの備え～」 仙台管区気象台 予報官 菊地一浩 氏	17
3	10.26(土) 14:00～16:30	講話「防災と外国人～地域の多文化共生を考える～」 仙台多文化共生センター センター長 菊池哲佳 氏	16
4	11.10(日) 10:00～13:00	館外学習・視察「福住町方式に学ぶ～地域防災訓練～」 福住町町内会副会長・防災減災部長 大内幸子 氏	10
5	12.7(土) 14:00～16:30	講話「3.11から学ぶ『災害をのりこえる』」／閉講式 東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔 氏	13

ii)「子どもの『こころ』のアレやコレ～子どもたちに寄り添うために～」 3回連続講座

回	開催日	概 要	受講者
1	11.22(金) 10:00～12:00	開講式／講話「特別なニーズのある子どもたちへの支援のヒント」 東北大学大学院教育学研究科 教授 野口和人 氏	62
2	12.6(金) 10:00～12:00	講話「特別なニーズのある子どもたちとのかかわり方」 仙台市立鶴谷特別支援学校 校長 杉 肇子 氏	58
3	12.13(金) 10:00～12:00	講話「アンガーマネジメント入門 ～怒りとの上手な付き合い方～」 キャリアトーク 代表 志伯暁子 氏	59

⑥「市立高等学校教員による企画講座」

仙台市立高等学校の教員を派遣してもらい、市民向けの実学的な講座を開催する。「高等学校開放講座」事業と連動して行う。(p.35「高等学校開放講座」参照)

2 広域規模の学習支援

(1) 高等学校開放講座

＜生涯学習支援センター＞

高等学校の持つ教育機能を生かし、市民の生活上・職業上の専門知識・技能及び一般教養の修得を図る。【昭和 51 年度開始 市立高校 5 校・5 講座、受講生 82 名、延 196 名】

学校名	講座名	内容	実施日	受講者
仙台高校	短歌を作る！短歌で遊ぶ！	仙台在住の歌人，駒田晶子先生を助言者として短歌の基礎を学び，歌会や歌合わせを通して短歌を楽しむ。	7.30(火)～ 8.2(金)	9
仙台青陵中等教育学校	弓道を知ろう	日本の伝統的な武道である弓道について，定められた作法を理解し，一連の動作を覚えながら弓道を学ぶ。	7.31(水)～ 8.2(金)	1
仙台工業高校	金属を溶かしてオリジナルキーホルダーを作ろう	思い描く形を自由に，より立体的な金属のキーホルダーなどの作品を作る。	10.15(水)～ 10.16(木)	18
仙台商業高校	表計算入門「エクセル 2019 基礎講座」	エクセル 2019 を使って，表計算ソフトの基礎や，関数の利用，いろいろな表やグラフの作成などを学ぶ。	11.30(土)～ 12.1(日)	29
仙台大志高校	簿記入門	簿記の初歩（日商簿記 4 級程度）を学ぶ。※町内会や N P O の会計に役立てることを想定	12.24(火)～ 12.26(木)	25

(2) 若い青年教室

＜生涯学習支援センター＞

仙台市内に在住又は勤務している知的障害のある青年に対し、仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として、学習機会を提供する事業を行った。【昭和 45 年度開設：教室生 30 名 8 回の教室を実施】

主な活動内容	実施回数	延参加者
○学習会（5回）：6/9, 7/21, 11/17, 12/15, 1/26 青葉区中央市民センターを会場に開催。クッキング，音楽，探検・スポーツ，創作・美術の4コースの中から希望するコースごとに分かれて2回の学習を行った。その他，レクリエーション活動，七夕飾りづくり，クリスマス会，節分フェスティバルを行った。 ○秋のハイキング（1回）：10/20 貸切バスを利用して，荒浜方面（海岸公園馬術場，荒浜小学校，キリンビール仙台工場）にて館外学習を行った。 ○式典（2回） ・委嘱状交付式（講師委嘱15名），開講式：4/14 ・コース発表会，閉講式：2/16	8	179

(3) 仙台明治青年大学

＜生涯学習支援センター＞

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齡学園等を修了した 61 歳以上の高齢者が「生きがいと自己実現」を図ることを目的として、学習会や大学祭などを自主運営により開催している。本学は昭和 41 年に開設され、平成 28 年度に創立 50 周年を迎えた。

(年度別在籍者数の推移)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1
新入生数	75	74	78	74	68
在籍者総数	815	810	806	821	824

(主な活動)

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
式典 (1 回)	・ 入学・開講式	22	13,329
大学祭 (2 日間)	楽楽楽ホール、生涯学習支援センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。		
学習会 (19 回)	太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1 回あたりの平均出席者数は 600 名であった。文化芸能、健康、震災などをテーマに、外部講師を招聘し実施した。		
広報活動	・ 学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・ 文芸誌「老学文苑」を発刊した。	—	—
ボランティア活動	・ 近隣小学校、児童館、児童養護施設等で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を教えている。 ・ 市民センター事業への協力や外部からの要請に対応した。 ・ 学習会の際にワンコイン募金活動を行った。	—	—

(4) 自主夜間中学

「仙台に夜間中学をつくり育てる会」が運営する「仙台自主夜間中学」を仙台市教育委員会との共催事業と位置付け、一部会場の提供、チラシ配布による広報支援等を行った。

第 1・3 水曜日 昼間部開講 23 回 (会場:仙台市市民活動サポートセンター)

第 1・3 水曜日、第 2・4 金曜日 夜間部開講 45 回 (会場:生涯学習支援センター)

参加者延数 2,000 人 (生徒 940 人 スタッフ 920 人 見学等 140 人)

令和 2 年 3 月末実数 生徒 50 人 スタッフ 40 人

3 人材育成

(1) 職員研修（学びを支える人材育成推進事業）

＜生涯学習支援センター＞

市民センター全 60 館ならびに 19 箇所の社会教育施設等の職員が、生涯学習事業の推進に必要な知識や考え方を深められるようにするとともに、社会の変化や市民ニーズに迅速かつ柔軟に対応しながら、積極的に市民や地域と連携を図ることができる専門性やスキルを身に付けられるようにする。

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
基礎研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員（博物館，科学館，天文台，大倉ふるさとセンター，オーエンス泉岳自然ふれあい館，仙台ひと・まち交流財団，仙台市市民文化事業団5施設） ・関係課職員	◇社会教育施設等新任職員研修【全1回】 5/22（水）13:30～17:00 ◎講話1「社会教育施設職員に求められるもの」 東北大学大学院 教授 高橋 満 氏 ◎グループワーク ◇社会教育施設等職員資質向上研修【全3回】 ＜第1回「学習支援者としての在り方」＞ 7/9（火）14:00～17:00 ◎講話「学習支援者としての役割」 東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授 佐藤智子 氏 ◎グループワーク・演習 ＜第2回「社会教育における評価」＞ 10/2（水）14:00～17:00 ◎講話「社会教育と評価の方法」 特定非営利活動法人 教育支援協会 代表理事 吉田博彦 氏 ◎グループワーク ＜第3回「学びのオーガナイザーとしての在り方」＞ 12/13（金）14:00～17:00 ◎講話「学びのオーガナイザーとしての役割」 文教大学 准教授 青山鉄兵 氏	33 34 25 18
	・市民センター職員	◇市民センター新任職員研修【全1回】 4/17（水）13:30～17:00 ◎講話1「市民センターの概要」※ ◎講話2「ジュニアリーダーの活動について」※ ◎講話3「市民参画型事業について」※ ◎講話4「学校との連携について」※ ◎講話5「学習情報提供・相談と学習情報の発信について」※ ※生涯学習支援センター職員が担当 ◎講話6「新任職員への期待」 東北学院大学 教授 水谷 修 氏	35

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
基礎研修	・市民センター館長	◇市民センター館長研修【全1回】 8/28（水）14:00～17:00 ◎講話「コミュニケーションスキルについて」 キャリアトーク 代表 志伯暁子 氏 ◎グループワーク	55
	・生涯学習支援センター、各区中央市民センター等に所属する社会教育主事等教育局職員	◇社会教育推進研修【全1回】 6/22（土）14:15～17:15 ◎講話「社会教育行政における戦略について ～強みを生かして課題を解決していこう！～」 栃木県立足利工業高等学校 教頭 井上昌幸 氏	16
応用研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇ファシリテーション研修（基礎）【全3回】 ＜第1回～初級編～＞ 6/19（水）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「ファシリテーション入門」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏	24
		＜第2回～ワークショップ編～＞ 7/31（水）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「ワークショップ体験とファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏	23
		＜第3回～会議編～＞ 8/21（水）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「会議でのファシリテーション」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏	20
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇ファシリテーション研修（応用）【全2回】 ＜第1回～スキルアップ①～＞ 11/8（金）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「ファシリテーションのスキルアップ①」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏	9
		＜第2回～スキルアップ②～＞ 12/20（金）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ 「ファシリテーションのスキルアップ②」 地域社会デザイン・ラボ 代表 遠藤智栄 氏	10
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇講座企画研修（基礎）【全1回】 6/28（金）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「企画・立案する際のポイント」 尚絅学院大学 教授 松田道雄 氏	19

区分	受講対象	研修名と概要	受講者
応用研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇講座企画研修（応用）【全2回】 <第1回> 9/6（金）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「企画・立案の実践①」 尚絅学院大学 教授 松田道雄 氏	22
		<第2回> 11/13（水）14:00～17:00 ◎講話とワークショップ「企画・立案の実践②」 尚絅学院大学 教授 松田道雄 氏	19
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇広報研修【全1回】 9/19（木）14:00～17:00 ◎講話とグループワーク「効果的な情報発信について ～広報戦略～」 仙台市市民活動サポートセンター 情報企画チーム 松村翔子 氏	16
発展研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・地域連携担当教員 ・嘱託社会教育主事 ・関係課職員・関係教員	◇学校との連携・協働研修（兼地域連携担当研修会）【全1回】 11/28（木）14:00～17:15 ◎講話「豊かな学びの環境づくりのために ～地域で学びを育む者としての役割とあり方～」 国立大学法人宮城教育大学 学長特別補佐 野澤令照 氏 ◎グループワーク	142
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員 ・希望する市民	◇学びの還元（ボランティア）研修【全1回】 1/29（水）14:00～17:00 ◎施設見学「仙台市地底の森ミュージアムの施設概要」 ◎講話「仙台市地底の森ミュージアムの事業概要」 「ボランティアスタッフの育成と活動の実践」 仙台市地底の森ミュージアム職員 ボランティアスタッフ	44
	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	◇現代的課題対応研修【全2回】 <第1回> 5/31（金）14:00～17:00 ◎講話「高齢社会における社会教育施設の役割」 東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 藤原佳典 氏 ◎グループワーク <第2回> 9/27（金）14:00～17:00 ◎講話「岡山市京山地区の取組（地域連携）」 岡山市富山公民館 主任 田中純子 氏	29 15

(2) 学びの還元（ボランティア）研修

＜生涯学習支援センター＞

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実を目指し、より多くの市民や団体等が、学びの活動に参画できるよう、市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図るとともに、ネットワークの構築を進めることを目的として実施した。

※ 職員研修・発展研修としても位置付ける。

受講対象	概 要	受講者
・市民センター職員 ・社会教育施設職員 ・関係課職員 ・希望する市民(生涯学習ボランティア等)	1/29（水）14:00～17:00 ◎施設見学「仙台市地底の森ミュージアムの施設概要」 ◎講話「仙台市地底の森ミュージアムの事業概要」 「ボランティアスタッフの育成と活動の実際」 仙台市地底の森ミュージアム職員 ボランティアスタッフ	44

(3) 地域コーディネーター研修

＜生涯学習支援センター＞

子どもを育む地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し、地域で核となる人材を育成する事業。実際に地域で活躍している市民（企画員）との協働により研修内容を企画・実施した。

受講対象	概 要	受講者
・学校支援地域本部事業、放課後子ども教室事業、図書室等開放事業、社会学級、学コミ事業の関係者 ・PTA関係者、学校教員、児童館職員 ・市民センター職員 ・その他	◇第1回「地域コーディネーター研修会」 10/30（水）13:30～16:30 ◎小テーマごとの名刺交換会と座談会 ◎グループワーク ◎講話「地域コーディネーターが織りなすもの」 研修アドバイザー 国立大学法人宮城教育大学学長特別補佐 野澤令照 氏	69
	◇第2回「地域コーディネーター研修会」 2/22（土）13:30～16:30 ◎小テーマごとの事例発表と意見交換 ◎情報交換会 ◎講話「新年度の活動スタートにおけるポイント」 研修アドバイザー 国立大学法人宮城教育大学学長特別補佐 野澤令照 氏	75
	※地域コーディネーター研修会企画委員会 研修会の方向性や内容の検討（全4回 延参加者36名） 5/21(火)15:30～17:00, 8/22(木)14:00～17:00, 10/9(水)15:30～17:00, 12/5(木)14:30～17:00	

(4) ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成・活動支援

<生涯学習支援センター>

子育て中の保護者が安心して学習できるよう、市民センターでは託児付きの講座を設けている（令和元年度実績：26 事業）。

託児は、ボランティアグループによる主体的な運営を基本としており、そのため、託児ボランティアグループの活動を支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成のための研修会を実施している。

事業名	開催日	内 容	延受講者
託児ボランティア連絡会・調整会	5 月 14 日 10 月 13 日	市民センターで活動する託児ボランティアグループの代表者等と意見交換を行うため、連絡会、調整会を開催した。	36
託児ボランティア養成講座（託児付）	9 月 18 日 9 月 25 日 10 月 2 日 10 月 9 日 10 月 16 日 全回水曜日 10:00 ～11:30	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学ぶ講座（全 5 回）を実施した。 ◎オリエンテーション「託児ボランティア活動について」 ◎講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 仙台市落合保育所 保育士 高橋智江 氏 ◎移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市支倉保育所見学 ◎講話「子どもの病気と怪我」 泉区家庭健康課 母子保健係長 鈴木昌子 氏 ◎話し合い、実技「これからの活動に向けて」	61
託児ボランティアフォローアップ研修	11 月 12 日 (火) 10:00 ～12:00	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ◎講話「カトリヌ Katoriinu の遊びのへや！！ ～託児のお話と託児室で使える遊びのヒント」 元児童館職員 香取純栄氏	31

【託児ボランティアグループ一覧】（令和 2 年 3 月現在）

グループ名	設立年月	主な活動区域（区域以外での活動も有り）	会員数
にんじん	S59. 7	宮城野区、青葉区	4
たんぼぼ	H 3	太白区	12
アリスの会	H 5. 7	若林区、青葉区、宮城野区	4
てっつの会	H 6. 4	青葉区・泉区	6
クリップ	H 9. 4	市内全般	6
ひまわり	H 9. 8	泉区、青葉区、宮城野区を主として市内全般	7
でんでんむし	H12. 3	太白区	8
さくらんぼ	H14. 5	青葉区	7
ハイジ	H22. 4	若林区	8
合計 9 グループ / 会員数 62 名			

② 図書ボランティア活動支援

＜生涯学習支援センター＞

市民センター併設の図書室（48 館）のうち 30 館の図書室では、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

【図書ボランティア一覧】（令和 2 年 3 月現在）

グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	12
カンナの会	福沢市民センター	14
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	8
（個人登録）	片平市民センター	5
（グループ名なし）	水の森市民センター	20
ひまわり	貝ヶ森市民センター	9
図書ボランティアコスモス文庫	大沢市民センター	13
葉の会	落合市民センター	11
たんぽぽ	吉成市民センター	10
木町通図書ボランティア	木町通市民センター	7
かすみそう	高砂市民センター	4
しおりの会	岩切市民センター	12
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
もくれんの会	鶴ヶ谷市民センター	14
ターンぽっぽ	東部市民センター	7
ひまわり	幸町市民センター	5
田子図書ボランティア	田子市民センター	1
（グループ名なし）	七郷市民センター	8
わかば	荒町市民センター	4
（グループ名なし）	沖野市民センター	8
（グループ名なし）	生出市民センター	5
ブックスフレンド中田	中田市民センター	17
（グループ名なし）	西多賀市民センター	3
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	28
図書ボランティア縄文	山田市民センター	8
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	10
（個人登録）	東中田市民センター	7
ブックポケット	柳生市民センター	9
富沢図書ボランティアの会	富沢市民センター	19
（グループ名なし）	松森市民センター	9
図書ボランティアサークル虹	南中山市民センター	10
ボランティア数計 300 名		

(5) 実習受入

○社会教育実習生

東北学院大学、宮城教育大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として生涯学習支援センター及び各区中央市民センターで受け入れ、公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

- a. 施設実習 R1.8.27（火）～R1.9.1（日）
- b. 講座実習 R1.11～R1.12 上旬
- c. 実習報告 R2.2.4（火）

実習生 東北学院大学 6 名 (a. b. c.), 宮城教育大学 11 名 (a. のみ)

○大学生施設見学（生涯学習支援センター）

大学の授業の一環として施設見学を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

聖和学園短期大学……25 名程度

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

《生涯学習支援センターの受け入れ実績 小学校（1 校 31 名）、中学校（2 校 6 名）》

【中学校職場体験】

仙台市立五橋中学校 ……3 名

仙台市立八木山中学校……3 名

【仙台市立榴岡小学校】

第 4 学年総合的な学習の時間「弟子入り留学」… 6 名

第 2 学年生活科「まちたんけん」…………… 30 名

※各区中央市民センター（拠点館）においても、同様に児童・生徒の職場体験実習を受け入れている。

4 ジュニアリーダー

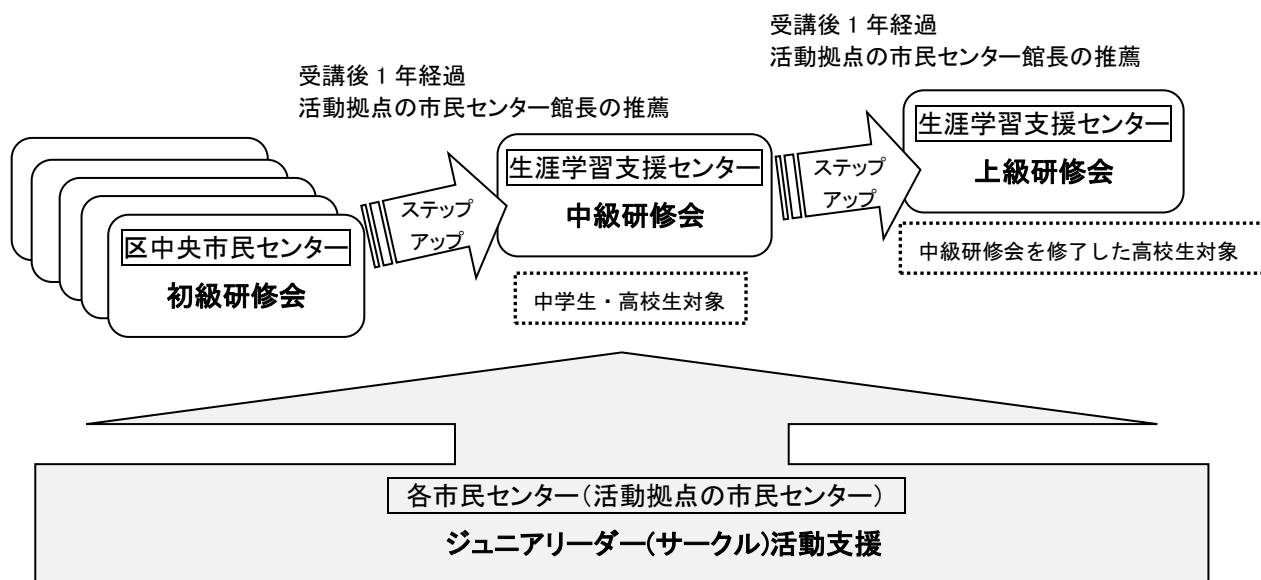
ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、地域の市民センターを拠点とするサークルに所属し活動する中学生・高校生のことであり、地域の子ども会活動のお手伝いや様々なボランティア活動に積極的に取り組んでおり、自身の人格形成にも生かされている。

ジュニアリーダー育成支援は、社会教育における“青少年の健全育成”，また，“学びを通じた人づくり”の一環として位置づけられる重要な事業である。仙台市生涯学習支援センターおよび各区中央市民センターでは、ジュニアリーダーを育成するために、下図の通り段階的に研修会を開き、ジュニアリーダー活動に必要な知識や技能を習得する場を提供している。また、活動拠点となる地区市民センターでは、ジュニアリーダーが幅広い視野や責任を持って地域での活動を行えるよう支援を行っている。

【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

- 自主企画(ジュニアと遊ぼう、交流会など)、定例研修会及び連絡会、各種研修会の実施
- 子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動
 - ・子ども会行事の実施及び企画の補助
 - ・区民まつりへの参加
 - ・市民センター事業への補助
 - ・児童館行事のスタッフ 等



○ジュニアリーダー初級研修会

＜区中央市民センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会支部）

ジュニアリーダー活動の理念に触れ、興味・関心を高めるとともに、現ジュニアリーダーとの親睦を図り、今後の活動への意欲を持たせることを中心にした内容の研修を各区で

実施した。対象者は、「新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生」とした。

研修内容：「ジュニアリーダーの活動について」、「子ども会について」、
「安全に活動するために」等

【令和元年度実績】

主催館名	開催日	受講者
青葉区中央市民センター	7月7日(日)	45
宮城野区中央市民センター	8月1日(木)	26
若林区中央市民センター	11月30日(土)	23
太白区中央市民センター	7月6日(土)	11
泉区中央市民センター	11月24日(日)	38

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

活動の中心となるジュニアリーダーとして、より専門的な知識と高度な技術の習得を中心とした内容の研修を実施した。対象者は、「初級研修会を受講し、ジュニアリーダーとして活動を行っている中高校生」で、かつ、「子ども対象の活動に5回以上参加し、活動拠点となる市民センターの館長の推薦を受けた者」とした。

○40名受講 8月8日(木)、9日(金) 会場：仙台市生涯学習支援センター

研修内容：「今、ジュニアリーダーに必要なものとは？」、
「リーダーとして要請の場で必要な力」、「子どもを引き付けるコツとは？」、
「要請のプログラムを作成しよう」、「要請のプログラムを実践しよう」等

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子どもの会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場にある高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行った。

対象者は、「中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動している高校生または高校生の年齢に相当する者」、かつ、「活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者」とした。

本研修会は、ジュニアリーダー活動のスキルアップを中心とした内容で実施した。

○25名受講 7月27日(土)～28日(日) 会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館

研修内容：「上級JLとしての役割と心構え」、「有効なPRのために」、「心の開き方」、
「子ども対応スキルアップ」、「コミュニケーションスキルアップ」、「自分を見つめる」

○ジュニアリーダー実践研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

上級研修会を受講したジュニアリーダーが講師となり、ジュニアリーダーとしてのスキ

ルを伝達する研修会を実施した。併せて、5 区のジュニアリーダーが交流を深め、幅広い視野や責任感を持って地域で活動できるリーダーとしての資質向上・技術向上も図る。対象者は、「仙台市ジュニアリーダー全登録者」である。

○35 名受講 12 月 7 日(土)～8 日(日) 会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館
研修内容：「リーダー論・コミュニケーション研修」、「身体表現研修」、「ゲーム研修」、「ダンス研修」、「キャンドルファイヤー」、「バルーンアート」等

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】（令和 2 年 3 月現在）

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区（121 名） 連絡会『星のすなごけい』 （青葉区中央市民センター）	1	MRVC くまっこ	44	広瀬市民センター
	2	かめ吉	10	福沢市民センター
	3	朝実巣あかよばく	12	北山市民センター
	4	Colors	5	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	28	中山市民センター
	6	みずの森一ダー' S	10	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	12	青葉区中央市民センター
宮城野区（56 名） 連絡会『Lovers』 （宮城野区中央市民センター）	1	高砂フレンズクラブ	9	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	9	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	5	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	7	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	26	宮城野区中央市民センター
若林区（64 名） 連絡会『田んぼっ区』 （若林区中央市民センター）	1	郷郷七郷	14	七郷市民センター
	2	六郷村	1	六郷市民センター
	3	ピ野沖ヲ	4	沖野市民センター
	4	JARO	23	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	10	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	12	若林市民センター
太白区（55 名） 連絡会『ANON』 （太白区中央市民センター）	1	なかだかな	8	中田市民センター
	2	おいでもん	7	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	12	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	25	太白区中央市民センター
	6	moni-s	3	茂庭台市民センター
泉区（125 名） 連絡会『ざわざわ森』 （泉区中央市民センター）	1	黒松ファミリー	4	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	23	南光台市民センター
	3	もみの木カリヨン	1	根白石市民センター
	4	向陽台ぱびふぺパレット	0	松陵市民センター
	5	将監くれよん	21	桂市民センター
	6	南中山巣子っふ	15	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	14	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	5	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	17	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	9	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	8	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	2	松森市民センター
	13	根住 s	6	根白石市民センター
市全体 （ 421 名 / 37 サークル ） 仙台市連絡会 『ずんだ』 （生涯学習支援センター）				

5 地域社会教育推進

(1) 学びのコミュニティづくり推進事業

<生涯学習支援センター>

地域の共有財産である学校や市民センターなどを核として、町内会や老人クラブなどの従来の地縁的な関係に「学習」「趣味」「企業」「NPO」「ボランティア」などの縁を加え、様々なネットワークを緩やかにつなぐことによって、子どものすこやかな育ちを支援する多様な人間関係を地域に育て、学校・家庭・地域社会がそれぞれ持つ教育機能を相乗的に発揮させることを目指している。

平成13年度に事業を開始。令和元年度は、事業委託した5団体と3年の委託期間が終了した後も自主的に活動を継続している29団体と合わせて計34団体が活動した。

区 分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
委託団体数（うち新規委託団体数）	8(4)	8(2)	7(1)	5(3)	5(1)
委託期間終了後の活動継続団体数	24	25	27	28	29
合計	32	33	34	33	34

《令和元年度の委託団体》5団体

団体名	区	学校区	ねらい・概要	委託状況
プロジェクト北三	青葉	木町通小	北三番丁公園をフィールドに地域貢献活動を行っていた「こよなく北三番丁公園を愛する会」が中心となり、「木町通小学校おやじの会」「木町通小学校」「木町通市民センター・児童館」と連携して児童の健全育成に向けた事業（木町通小学校に泊まろう・段ボール窯でピザを焼こうなど）を展開している。	新規
東仙台小学校学区学コミ推進委員会	宮城野	東仙台小	東仙台小学校区内の子どもたちを核として、同地域内の各種団体が連携して諸活動を行っていくことにより、子どもたちの豊かな体験と健やかな育ち並びに地域のネットワークづくりを目指す。子どものあそび大会、学校でデイキャンプをしよう、などの事業を実施。	2年目
幸町小おやじの会	宮城野	幸町小	小学校、父母教師会、学校支援地域本部、おやじの会により構成され、「子どもたちの思い出づくり」という目的の実現のため、学校に泊まろう、みちのく雪あそびツアー、を開催。	〃
大和学びのコミュニティづくり推進委員会	若林	大和小	ともに地域の行事を一緒に行っている4団体が、地域の子どもたちに新しい体験の場を設けたいという共通した考えのもと、学校に泊まろう会を実施。	〃
八木山おやじの会	太白	八木山小	小学校、PTA、おやじの会が連携し、児童参加の行事を開催することにより子どもとのつながりを強め、参加する全ての人の喜び・楽しみを達成し、地域全体で子どもの安全を見守る事を目的として、お泊まり会や餅つき大会を実施。	3年目

《委託終了後も自主的に活動を行っている団体》 29 団体

No.	団体名	区	学校区	委託終了年度
1	まちがっこ推進委員会	青葉区	東二番丁小	平成 15
2	榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	東華中 宮城野中	〃
3	ながまち学びネット推進委員会	太白区	長町中	〃
4	ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会	泉区	七北田中	平成 16
5	松陵っ子、土っと来い！	泉区	泉松陵小	〃
6	かみすぎねっと	青葉区	上杉山通小	平成 18
7	作並学びのコミュニティ推進事業実行委員会	青葉区	作並小	〃
8	パパネット南小泉推進委員会	若林区	南小泉小	平成 19
9	まなこみネット鶴が森 II	泉区	鶴が丘中	平成 21
10	将監こども楽校推進委員会	泉区	将監小	平成 22
11	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ推進委員会	青葉区	旭丘小	平成 23
12	上愛子学びのコミュニティづくり推進委員会	青葉区	上愛子小	〃
13	「西山っ子ニコニコ楽校」	宮城野区	西山小	〃
14	通学合宿連坊実行委員会	若林区	連坊小路小	〃
15	まなびネット「いずみ中山」	泉区	南中山中	〃
16	五城学区地域連携教育推進委員会	青葉区	五城中	平成 24
17	福室学びのコミュニティづくり推進委員会	宮城野区	福室小	〃
18	「がんばれ秋保っ子」推進委員会	太白区	秋保中	〃
19	カモンレインボープラン推進委員会	泉区	加茂中	〃
20	おいで里ネット	太白区	生出中	平成 25
21	川平学びのミュージアム	青葉区	川平小	平成 26
22	袋原中学校区学びのコミュニティ推進委員会	太白区	袋原中	平成 27
23	ロングライフヒルコミュニティ協議会	泉区	長命ヶ丘中	〃
24	山ガキ隊わくわく学校推進員会	太白区	山田中	平成 28
25	森の応援団 愛子ハグリッズ	青葉区	愛子小 錦丘小	平成 29
26	楽コミ金剛沢おやじっ子推進委員会	太白区	金剛沢小	〃
27	坪沼スポーツ振興会	太白区	生出小学校 区の一部	〃
28	未来っこ桂	泉区	桂小	〃
29	田子っこ学びのコミュニティ推進委員会	宮城野区	田子小	平成 30

(2) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び、3 年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して、活動支援を行った。

○実施団体連絡会

<生涯学習支援センター>

委託期間が終了した後も自立した活動を行っている 29 団体を含め、事業実施団体連絡会による研修会を開催し、団体相互の情報共有を図った。

開催日時	内 容	受講者
2.15(土) 14:30～16:30	事例発表「これまでの取り組みと今後の展望」 八木山おやじの会 会長 古川伸人 氏 講話「クラウドファンディングによる活動資金獲得の事例と手法について」 日本ファンドレイジング協会 鈴木美紀 氏 情報交換	19

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
まちがっこ (No.1)	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ、青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・5月 花のあるまちづくり	1	
かみすぎねっ と (No.6)	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・6月16日 上杉地区大運動会 ・7月20日～21日 Gakkou へ泊まろう ・8月18日 上杉地区夏まつり ・9月6日 世界の音楽～馬頭琴～ ほか	1 1 1 1	
旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ (No.11)	旭丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・6月 推進委員会 ほか	1	
川平学びのミュージアム (No.21)	川平小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・9月1日, 11月17日 白菜ミュージアム ・8月13日～14日 親子ふれあいワクワクキャンプ ・11月16日 川平フェスタ	2 1 1	
宮城野区中央市民センター			
榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業 (No.2)	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図った。 ・8月24日 第19回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1月18日 第13回つつじがおかワイワイ冬まつり	9	960
「西山っ子ニコニコ楽校」 (No.13)	西山小学校区の学校関係団体・地域団体との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・1月18日 みんなで楽しくいい気モチ イン 西山	1	45
若林区中央市民センター			
南小泉子どものふるさとづくり推進事業 (No.8)	学びのコミュニティづくり推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。	3	240
区内小学校合宿等支援 (No.14)	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・7月27日 学校へ泊まろう 2019（荒町小） ・10月9～10日 通学合宿！連坊！（連坊小路小）	2	180
若林小あそび場支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動（概ね月1回開催）を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援した。	10	450

太白区中央市民センター				
がんばれ秋保っ子 (No.18)	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつかった。 ・10月12日 秋の大運動会（大雨で中止） ・1月18日 秋保カルタ大会（参加者89名） ・秋保地区地域活動のつどい ・秋保地区行事カレンダー作成	1	89	
ながまち学びネット (No.3)	長町中学校区（長町中・長町小・長町南小・鹿野小学校区）内児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行うなど、地域コミュニティと連携しながら地域づくり活動を展開した。 ・9月28日 こども防災キャンプ (参加児童生徒14名)	4	54	
泉区中央市民センター				
区内学コミ連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・6月8日 第1回連絡会（年間計画、情報交換）	1	10	
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会 (No.4)	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について協議、企画、実施した。 ・7月6日 七小ゆめフェスティバル ・8月2日～8月3日 キャンプだホイ!2019 in 市名坂 ・11月16日 市小カーニバル ・2月16日 あそびの天国 2020	9	160	
		1	290	
		1	257	
		1	260	
		1	293	

(3) 地域情報発信サポーター養成・活動支援

<生涯学習支援センター>

○地域情報発信サポーター講座

地域情報発信サポーターのスキルアップと同サポーターを養成するための講座(全3回)を令和2年3月に計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度に延期した。

○地域情報発信サポーター活動支援

平成28年度地域情報発信サポーター養成講座の修了者が自主サークル「仙台おもしろ発見隊」として活動を継続、8回(延20名)の活動を行い、リーフレット「地域を語ろう第1号」(前年度まで発行した「地域のなかまたち」を一新)を作成した。今後も円滑な活動により効果的な情報発信が行われるよう、支援を行っていく。

6 学習情報提供

(1) 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営等 ＜生涯学習支援センター＞

学習情報レファレンスシステムは、市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センターとを専用回線で結び、生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として平成12年3月より運営している。

平成26年11月にシステムを更新し、新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは、各市民センターの情報を統合して表示するほか、講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により、市民により分かりやすいページ構成とした。また、スマートフォン・タブレット等でも閲覧可能となっている。

令和元年度には、システムの機器更新を行うとともに、動画が公開できるようYouTube上に仙台市市民センターチャンネルを開設し、市民センターホームページに設けたリンクからアクセスできるようにした。

【令和元年度 市民センターホームページアクセス件数】

アクセス件数	789,615	一日あたりの閲覧数	2,157
閲覧者数	590,061	一日あたりの訪問者数	1,612

【市民センターホームページURL <https://www.sendai-shimincenter.jp/>】



(2) 市民センター事業ガイド

＜生涯学習支援センター＞

講座等参加者の募集中，募集予定がある事業について，区ごとにまとめ，毎月 1 回発行して，市民への情報提供を行った。市民センターホームページでも公開している。

(3) 「学都仙台サテライトキャンパス」支援等

＜生涯学習支援センター＞

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」（平成 18 年設立）のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」（14 高等教育機関で 62 講座実施，2,327 名受講）や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について，市民が円滑に講座を受講できるよう，広報及び情報提供等の支援を行った。

市政だより掲載：5 月号，6 月号，8 月号，9 月号，10 月号，11 月号，1 月号

(4) その他の学習情報提供事業

○学習情報提供システム操作研修

＜生涯学習支援センター＞

市民センター職員を対象に，市民センターで開催する講座の案内情報を学習情報データベースに登録し，その後 CMS でホームページの記事を作成して公開することが支障なくできるよう，学習情報システムの操作研修を開催した。

受講対象	概要	受講者
市民センター職員	5/23 ①9:30～12:30 ②14:00～17:00 5/24 ③9:30～12:30 ④14:00～17:00 ◎学習情報システム（CMS・データベース）の操作研修 生涯学習支援センター 職員	31

7 各区中央市民センター事業

(1) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進した。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	6月26日 青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月7日 ジュニアリーダー初級研修会 9月1日 子ども会対象事業 「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11月24日 親子対象事業「家庭教育講座」 6月7日, 11月14日, 12月14日 インリーダー研修会事前打ち合わせ 8月, 12月～2月 インリーダー研修会 (10会場)	17	1,018
宮城野区中央市民センター	6月27日 宮城野区社会教育推進連絡会研修会 7月14日 「七北田川を楽しもう！」 8月1日 宮城野区ジュニアリーダー初級研修会・交流会 12月14日 インリーダー研修会事前打合せ会 2月 インリーダー研修会 8会場 (1会場中止)	16	約 600
若林区中央市民センター	8月23日 若林区地域学校連携推進会議 11月23日 ものづくり体験教室 (クッキーづくり, 凧づくり, サバめしづくり, 生け花で作品, 缶バッチづくり, 革細工づくり) 11月30日 ジュニアリーダー初級研修会 1月11日 インリーダー研修会事前打合せ兼研修会 2月1, 8, 15, 22日 インリーダー研修会	9	約 500
太白区中央市民センター	6月28日 第1回太白区内地域連携ネットワーク会議 7月6日 ジュニアリーダー初級研修会 6月～1月 太白区内地域連携ネットワーク事業 各地区ごと 16事業を実施 11月4日 長町秋のフェスティバル (協力事業) 12月14日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月～2月 インリーダー研修会 (各市民センター) 1月28日 第2回太白区内地域連携ネットワーク会議	160	約 8,000
泉区中央市民センター	5月～2月 泉区の社会教育を考える会 (6回) 6月27日 泉区地域と学校をつなぐ研修会 7月31日 「3.11」から明日を見つめる つながるひろがる体感ツアー (協力事業) 11月24日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 12月14日 第13回みんなでジャンプシェルクム大会 7月～2月 インリーダー研修会 (23の研修会中 19の研修会で講師担当)	24	約 2,200

(2) インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

【令和元年度実績】

区	開催回数	延受講者
青葉区	10	462
宮城野区	8	371
若林区	6	333
太白区	9	584
泉区	23	1,367
合 計	56	3,117

(3) 学習成果社会還元事例研究

◎事業例 まなびごっこ

＜若林区中央市民センター＞（98 回実施 延参加者：1,405 名）

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室（男の料理教室、女性のための囲碁教室、映画上映会など 12 種類）を開催した。

(4) 生涯学習研究事業

◎事業例 泉区の社会教育を考える会

＜泉区中央市民センター＞（事業検討 6 回実施 延参加者：61 名）

区内の社会教育について、区内嘱託社会教育主事と協働し、既存の事業の見直しや、新たな事業方法の研究開発を行った。また、その事業を実施検証し、社会教育事業の新たな展開の可能性を探り、泉区の社会教育事業について活性化を図った。

(5) その他の主な事業

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生、中学生に日本語を学習する機会を提供し、充実した学校生活が送れるように支援している。	34	625
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に、日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに、日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで、国際交流や多文化理解を促進している。	662	7,811
若林区中央市民センター	家庭教育講座	未就学児の保護者、子育てに関心のある方を対象に「子育てについて学び、考えましょう～探求の対話 P4Cを活用して～」をテーマに、宮城教育大学 上廣アカデミーの協力を受け実施した。	1	7
	六郷・七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため、六郷・七郷地域を市民がバスで巡り、地域の状況を見聞きする機会を設けた。	1	23

	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として、月１回の定例会及び年１回の大会を開催した。	11	343
	「ボッチャ」をととした区民地域交流促進事業	障害の有無や体力・体格差などに関係なく一緒に実践できるスポーツ「ボッチャ」を活用し、地域間交流や世代間交流を図ることを目指し、区内市民センターと連携して「ボッチャ」を活用した講座の開催のほか、地域への出前講座として「ボッチャ交流会」を開催した。	7	217
太白区中央市民センター	長町・あすと長町地域活性化事業	地域振興団体が実施するイベント「長町秋のフェスティバル」の企画運営等の支援を行った。「食」・「スポーツ」・「芸術」をテーマに、主に子どもを対象とした様々な市民参加型の事業を実施した。	1	16,000
泉区中央市民センター	団体長縄跳び競争「第13回みんなでジャンプ！シェルクム大会」	区内の小学生を対象に、冬場の体力づくりと地域間交流、世代間交流を図る目的で長縄跳び大会を開催した。	1	332

8 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は14人で、任期は令和元年11月1日から令和3年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】 [令和2年4月1日現在]

氏 名	職業または所属団体
○ 相 澤 雅 子	仙台市立南小泉中学校学校支援地域本部 スーパーバイザー
安 藤 歩 美	TOHOKU 360 代表・編集長
市 瀬 智 紀	宮城教育大学教員キャリア研究機構 教授
大 内 幸 子	せんだい女性防災リーダーネットワーク 代表
幾 世 橋 広 子	仙台市社会学級研究会 顧問
後 藤 武 俊	東北大学大学院教育学研究科 准教授
齋 藤 和 平	仙台市連合町内会長会 庶務理事
佐 々 木 稔	公募委員
佐 藤 正 実	有限会社イーピー風の時編集部 代表取締役
柴 田 真 理 子	仙台市立馬場小学校 校長
高 橋 卓 誠	仙台市議会 議員
牧 靖 子	マイスクール川平 コーディネーター
◎ 松 田 道 雄	尚絅学院大学 教授
八 十 川 淳	東北文化学園大学科学技術学部 教授

◎：会長 ○：副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容(平成15年度～令和元年度)】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 審議会における検討の過程 2 子どもの事業に取り組む課題と視点 3 ジュニアリーダーの育成と活動支援 4 学社連携・融合事業について 5 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民参加と市民協働の課題 2 市民センター運営における市民参加について 3 市民企画委員によるプログラムづくりについて 4 市民参加を広げる事業活動をめざして
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて <これまでの審議内容(各委員の意見)の概要> 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査からみえてきたもの <市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは> (梨本雄太郎委員) <区行政との「融合」をめぐる> (石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案ー仙台プランー	<市民センターを拠点とした新しいまちづくり> 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する <新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩/今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案> 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見について	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他
平成 26 年 7 月 31 日	報告	平成 25 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 8 月 25 日	報告	平成 26 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 27 年 10 月 17 日	意見	震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について	1 震災後の取り組みの成果と課題 2 今後の市民センター事業に関する委員の意見
平成 29 年 3 月 23 日	報告	仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
平成 29 年 10 月 23 日	意見	仙台市市民センター事業評価に関する意見について	1 事業評価について 2 事業運営懇話会等について

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 30 年 11 月 8 日	報告	仙台市市民センター事業評価報告	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果
令和元年 7 月 4 日	答申	「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直し(第二次)のあり方について	<見直しのあり方に関する意見> 1 拠点館の役割の再検討及び記載の明確化について 2 「震災を踏まえた市民センターの役割と取組」の記載事項の内容・構成の再検討 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」の記載事項の内容・構成の再検討 4 全体、他の項目への意見等

【審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
令和元年 5 月 16 日 (木)	定例会	協議： ○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直しのあり方(答申案)について
7 月 4 日 (木)	定例会	答申： ○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直し(第二次)のあり方について 協議： ○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の見直しについて
8 月 29 日 (木)	定例会	報告： ○「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の改定について
11 月 8 日(金)	定例会	○委嘱状交付式 ○会長、副会長選出 協議： (1)会議の公開、非公開について (2)議事録及び署名人について (3)公民館運営審議会定例会の進め方について 報告： (1)仙台市市民センターの概要について (2)市民センターホームページについて
令和 2 年 1 月 16 日 (木)	定例会	協議： (1)今後の日程について (2)今期の審議テーマについて 報告： ○仙台市市民センター事業の運営方針について ～市民センターの役割～
7 月 2 日 (木)	定例会	協議： ○公民館運営審議会の今後の進め方について 報告： ○新型コロナウイルス感染症の影響について ・市民センター事業(令和 2 年度) ・子ども参画型社会創造支援事業(若林区)

※令和 2 年 3 月 17 日(火)及び 5 月 14 日(木)に開催を予定していた定例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。